

平成18年6月20日

各 位



銚子信用金庫
理事長 岩瀬 喜克

理事長就任にあたっての御挨拶

理事長就任の御挨拶に先立ちまして、お客さま、地域の皆さま並びに会員の皆さまの日頃のご愛顧とご支援に、心より厚く御礼申し上げます。

当金庫におきましては、地域に根ざした金融機関として求められる役割および責任を果たすためには、まずは当金庫自身が経営の効率化を図り、強靱な経営体質を確立する必要があるとの方針のもと、店舗効率化などの経営改革を実施し、平成18年3月期においては5期間ぶりの黒字を計上するとともに、復配を達成し、自己資本比率も向上するなどの改革の成果を挙げております。

そのようななかであって、既に当金庫ホームページなどでお知らせいたしておりますとおり、本年6月9日に関東財務局長より、業務改善命令が下されたことは、これを厳粛に受け止め、深く反省するとともに、この場をお借りして、あらためて皆さま方に深くお詫びを申し上げる次第であります。

今後については、二度とこのような事態が生じないよう、理事長である私が先頭に立って、徹底した法令等遵守の精神に基づく内部管理態勢の充実・強化に努めてまいります。

なお、昨年来からの経営改革は一定の成果を挙げつつありますが、それに甘んじることは断じて許されないものと、強く認識しております。

地域経済が未だ低迷を脱しきれていないなかであって、金融機関同士の競争は激しさを増し、また、減損会計や新B I S規制などの制度変更が続いております。

このような情勢下、お客さまの大切な預金を預かる金融機関としての最たる責務は、

資産の健全性を維持したうえで、収益体質を確立し、自己資本の充実を図るなどの経営力の強化に努めていくことと認識しております。

そして、その経営力の強化を背景として、お客さま、地域の皆さま並びに会員の皆さまに対する適切かつ円滑な金融サービスを提供し、信頼される、地域に絶対不可欠な金融機関となり続けることが重要であると考えております。

経営トップとして、まずは私自身が不退転の決意をもって身を強く律し、そして誰よりも先に私が先頭に立って行動していかなければならないものと思っております。

皆さま方におかれましては、この決意をお汲み取り頂き、新生「銚子信用金庫」に対して、今後とも一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さま方の益々のご発展をお祈り申し上げ、私の理事長就任の挨拶とさせていただきます。